

（第 1 面）

産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 6 月 24 日

茨城県知事 大井川 和彦 殿

提出者

住 所 茨城県常陸太田市和久町 1478 番地
氏 名 株式会社 後藤工務店
代表取締役 後藤 一 憲
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号 0294-85-0339

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 後藤工務店
事業場の所在地	茨城県常陸太田市和久町 1478 番地
計画期間	令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	大分類：建設業 中分類：総合工事業
② 事業の規模	前年度の完工高 1.1 億円
③ 従業員数	9 人（正社員 9 人）
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	各種廃棄物については、別紙記載



（日本工業規格 A 列 4 番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

[] : 処理計画 → 総務部門 → 総務：契約書及びマニフェストの作成管理
 (総括責任者) 工事部門 → 現場事務所：産廃管理責任者

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（ 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	全廃棄物総数量	—
	排 出 量	1 0 0 5 . 0 5 t	— t
	(これまでに実施した取組) 必要最低限の数量の排出、自社再利用の促進 各種廃棄物の排出量については、別紙記載		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	全廃棄物総数量	—
	排 出 量	5 9 0 . 0 0 t	— t
	(今後実施する予定の取組) 前年度同様、必要最低限の数量の排出、自社再利用の促進 各種廃棄物の排出量については、別紙記載		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) コンクリート殻、アスコン殻、枝葉、樹木根、竹・篠、竹・篠根、木くず、がれき類、廃プラスチック、混合廃棄物 を個々に分別
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記同様、コンクリート殻、アスコン殻、枝葉、樹木根、竹・篠、がれき類 を個々に分別

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	全廃棄物総数量	—
	全 処 理 委 託 量	1 0 0 5 . 0 5 t	— t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	— t	— t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	1 0 0 5 . 0 5 t	— t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
	各種廃棄物の排出量については、別紙記載		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	全廃棄物総数量	—
	全 処 理 委 託 量	590.00 t	— t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	590.00 t	— t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
	各種廃棄物の排出量については、別紙記載		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が 1,000 トン以上の事業場ごとに 1 枚作成すること。
- 2 当該年度の 6 月 30 日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第 6 条の 11 第 2 号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 15 条の 3 の 3 第 1 項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が 3 以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画書（別紙）

（第 1 面）

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

④産業廃棄物の一連の 処理の工程	構造物撤去工	→ コンクリート殻	→ 委託処理（再生処理業者）
		→ アスコン殻	→ 委託処理（再生処理業者）
	伐採除根工	→ 枝葉	→ 委託処理（再生処理業者）
		→ 樹木根	→ 委託処理（再生処理業者）
		→ 竹・篠	→ 委託処理（再生処理業者）
	土工	→ がれき類	→ 委託処理（再生処理業者）

(第2面)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状

【前年度（令和 6 年度）実績】			
産業廃棄物の種類	コンクリート殻	アスコン殻	枝葉
排 出 量	394.71 t	18.50 t	29.18 t
産業廃棄物の種類	樹木根	竹・篠	竹・篠根
排 出 量	18.84 t	15.32 t	22.74 t
産業廃棄物の種類	木くず	がれき類	廃プラスチック
排 出 量	0.44 t	504.38 t	0.47 t
産業廃棄物の種類	混合廃棄物	—	—
排 出 量	0.47 t	— t	— t

② 計画

【目標】			
産業廃棄物の種類	コンクリート殻	アスコン殻	枝葉
排 出 量	400.00 t	50.00 t	30.00 t
産業廃棄物の種類	樹木根	竹・篠	がれき類
排 出 量	20.00 t	20.00 t	70.00 t
産業廃棄物の種類	—	—	—
排 出 量	— t	— t	— t

(第4面)

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状

【前年度（令和6年度）実績】			
産業廃棄物の種類	コンクリート殻	アスコン殻	枝葉
全処理委託量	394.71 t	18.50 t	29.18 t
優良認定処理業者への 処理委託量	— t	— t	— t
再生利用業者への 処理委託量	394.71 t	18.50 t	29.18 t
認定熱回収業者への 処理委託量	— t	— t	— t
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	— t	— t	— t

産業廃棄物の種類	樹木根	竹・篠	竹・篠根
全処理委託量	18.84 t	15.32 t	22.74 t
優良認定処理業者への 処理委託量	— t	— t	— t
再生利用業者への 処理委託量	18.84 t	15.32 t	22.74 t
認定熱回収業者への 処理委託量	— t	— t	— t
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	— t	— t	— t

産業廃棄物の種類	木くず	がれき類	廃プラスチック
全処理委託量	0.44 t	504.38 t	0.47 t
優良認定処理業者への 処理委託量	— t	— t	— t
再生利用業者への 処理委託量	0.44 t	504.38 t	0.47 t
認定熱回収業者への 処理委託量	— t	— t	— t
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	— t	— t	— t

産業廃棄物の種類	混合廃棄物	—	—
全 処 理 委 託 量	0. 4 7 t	— t	— t
優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	— t	— t	— t
再生利用業者への 処 理 委 託 量	0. 4 7 t	— t	— t
認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	— t	— t	— t
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	— t	— t	— t

(第5面)

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 計画

【目標】			
産業廃棄物の種類	コンクリート殻	アスコン殻	枝葉
全処理委託量	400.00t	50.00t	30.00t
優良認定処理業者への 処理委託量	—t	—t	—t
再生利用業者への 処理委託量	400.00t	50.00t	30.00t
認定熱回収業者への 処理委託量	—t	—t	—t
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	—t	—t	—t

産業廃棄物の種類	樹木根	竹・篠	がれき類
全処理委託量	20.00t	20.00t	70.00t
優良認定処理業者への 処理委託量	—t	—t	—t
再生利用業者への 処理委託量	20.00t	20.00t	70.00t
認定熱回収業者への 処理委託量	—t	—t	—t
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	—t	—t	—t